



区誌 いしずえ

第47号
2024年(令和6年)
3月

発行／～地域力つなぐ～枚二校区コミュニティ協議会

編集／コミュニティ協議会広報部

走って安心 ▶ 自転車「通行帯」



車道混在の「自転車通行帯」(枚方市駅まであと5分の場所=昨年12月新設)

最近よく見かける「青い矢羽根」と「白い矢印&自転車」を路面に施した道路標識。自転車の安全な走行を促すものであり、自動車のドライバーに対しても、車道上の自転車通行帯を知らせる法定外の路面標示です。

この「車道混在型」は、制限速度40km/h以下かつ一日の通行量目安4000台以下の道路に標示。国土交通省と警察庁が策定したガイドラインで示され、自転車はこの上を通っています。

通学路の危険

枚二校区は市駅から離れた地域に人口が集中し、朝の通学時間帯は駅方面などに向かう自転車と児童がすれ違えます。急な坂道や交差点で速度を落とさないなど、危険性に気付けなければなりません。

なお、「歩行者専用道路」として、自転車は押しての通行が認められ、乗って走ると違反になります。

道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられています。車道と歩道の区別があるところは車道通行が原則で、道路の左側に寄って通行しなければなりません。歩道を通行できる場合は、車道寄りの部分を徐行して、歩行者の通行を妨げるときには一時停止をしなければなりません。

軽車両



意外と知らない交通ルール

安全を図っています。見守り隊がない自転車もいて、見守り隊が安全を図っています。

「自転車安全利用五則」の運用が始まって1年余りが経過。

この間、枚二地域安全委員会が市に働きかけて、「広報ひらかた」(1月号)でも自転車の交通ルール順守を呼びかけています。



こんな違反に「青切符」!

〈対象となる違反の例〉



徐行せず歩道通行



一時不停止



信号無視



右側通行



携帯電話使用

自転車の悪質な交通違反が後を絶たないことから、報道によると、警察庁は昨年末、いわゆる「青切符」による取り締まり強化の方針を固めました。

対象となる違反は信号無視や右側通行、自転車特有の「歩道における通行方法違反」など100以上の種類に上ります。法令順守の促進が目的で、警察官が違反を現認しても指導や警告にとどめ、警告に従わない場合や「歩行者にケガを負わせる危険性」があった場合に青切符が交付されます。

まちの防災力

多世代交流 まちの話題

枚方高校の飼育部見学

東田宮子ども会



昨年12月23日(土)、東田宮の子ども会が地元の枚方高校飼育部を訪問し、教室で川魚などを飼育している様子を見学しました。副部長からお話を伺ったあと、部活で飼っている生き物たちの紹介とお世話体験をしました。初めて見る生き物もいて、参加した約50人は興味津々。予定時間を超えてみんなは楽しんでいました。

同校の部員たちは「これをきっかけに、生物多様性保全に取り組み子どもたちが増えてくれればいいです。」「また遊びに来てください」と話していました。

iPad講座で地域交流

学ぶ育む 枚方中学校生



「端末の操作方法など何度教えてもらっても一連のやり方がわからない」。1月20日(土)、今年も枚方中学校のICT委員8名が、タブレットを活用した評議員会の会議の席に来てくれました。昨年の講座実施から「1年が経過しましたので、アカウムの確認と再取得をします」。リーダー役と他の委員により講座が始まると、同行する先生が自校H・P用のブログを作成。その場で配信され、生徒たちの学びの様子がタブレットで確認できました。評議員会に出席の秋山校長は「委員は1、2年生が中心です。地域交流という点でも、大変貴重な経験になりました」。

子どもと大人の競争

枚二マラソン大会・駅伝



2月3日(土)、子ども会連合会・青少年守る会の共催、枚二小PTAの協力でマラソン大会と駅伝が行われました。マラソンには枚二小1〜5年生男女53人が淀川の河川敷を駆け抜けました。大会メインの駅伝には、成人男女も含めた6チームが参加。2・4キロの距離を1チーム4人でタスキをつなぐレースは、5年生・高校生の混合チーム「スポーツバカ」が大人チームを制して優勝しました。駅伝と小5男子のマラソンでダブル1位となった西田宮町の大西康太君は、「1位になってとても嬉しい。来年の大会も出場したい」と喜びに浸っていました。

ながい、お付き合いです

岡東町自治会もちつき会



2月4日(日)、東海大付属大阪仰星高等学校柔道部のメンバーが、地域住民と交流を図りながら岡東町自治会の餅つき会に協力しました。高齢化が進み、イベントの担い手が不足する岡東町自治会から要請を受けて実現したもので、今年も学生20人が約50kgの餅をつきました。自治会の婦人や協力する女性たちが、きな粉やあんこ餅にして参加者にふるまい、老人会会員宅を友愛訪問します。同校柔道部のキャプテンを務める、81kg級で活躍する森本総司さん(2年)は、「みんなで力を合わせてついたお餅はおいしいです」と、お昼を挟んで杵を振っていました。

① 新町:新町会館



② 岡本町:岡本町公園



③ 岡東町:T-site正面入り口前



④ 岡南町:ゲートボール場



⑤ 岡山手町:坊主池公園



⑥ 川原町:小規模公園245



災害時自治会の一時退避場所はここだ!

⑦ 大垣内町:大垣内集会所



⑧ 朝日丘町:小規模公園311



⑨ 東田宮:あんど公園



⑩ 田宮地区:田宮公民館



「共助」の重要性を説く

災害時の被害を最小限に抑えるためのキーワードとして、「自助・共助・公助」の三点から語ることがありますが、その中核にあるのが地域に求められる「共助」です。「自助」を促す啓蒙活動や、行政に、地域に合わせた必要な「公助」を求める活動も「共助」です。行政が動く「公助」には限りがあります。各人が、それぞれの立場でやれることを行うのが「共助」です。

いざと言うときに、自分は何が出来るのか考えている人が、いかに多くいるかが地域防災力の高さであり、地域の救命率の高さにつながります。災害が起こるたびにそのことは思い知らされます。枚二小学校では、5年前から4年生を対象に、命の尊さや助け合いの大切さを学ぶ授業が続けられています。これには、枚二防災会も携わっています。

わが地域は、年代層の偏りも極端ではなく、良好な人間関係が培われていると思います。それは、長年にわたる先輩方から引き継がれた住民自治の各種催しや活動によるものでしょう。

その伝統が、コロナ禍により窮地に立っていることは間違いないと思います。いまこそ、強い地域の連帯で、『まちの防災力』を維持・推進していかなければなりません。

枚二防災会会長 加藤吉和

田宮の歴史

古来より神社には人々が集まり、おのずと「宮町」などといった地名が付きました。日本全国には大きな神社の門前から、小さな祠(ほこら)の地にまで数多くの「宮」を含んだ地名があります。

山田神社

田宮の南側の村落「山之上」に山田神社があります。古くは弘安2年(1279年)、北河内群牧野郷の一ノ宮片笠神社の氏地であった山之上の地に神社を造営し、その名を「山之上神社」と称しました。明治6年(1873年)、田宮の地に鎮座の神社を廃し、御祭神の祇園牛頭天王を山之上神社に合祀しました。その時、山之上・田宮両村の頭文字を取って、神社名を「山田神社」と改称されました。



▲
山田神社の説明案内板
(枚方市山之上4)

古文書の出現と江戸時代の家族

年代	人口(a)	世帯数(b)	(a)/(b)人
安永6年(1777)	44	12	3.7
弘化3年(1846)	62	12	5.2
万延2年(1861)	77	14	5.5
慶応元年(1865)	70	15	4.7
明治元年(1868)	76	15	5.1
令和6年(2024)	1947	821	2.4

田宮地区の人口推移
江戸幕府の各領主は、領民支配のため戸口調査を行い、人別帳を作成していました。寛文11年(1671年)以降は、宗門人別改帳として全国で作成されることになり、これにより各家の家族構成がわかります。田宮村に現存する最古の宗門改帳は安永6年(1777年)のもので、当時の人口・世帯数は44人・12世帯の小さな村で、幕末期まで5人程度の世帯規模が続いていました。
* 昭和25年以降には、田宮の通称「向い山」を切り崩して整

地。跡地には枚二小学校が開校されるとともに広大な平地が出現し、宅地化が進みました。以降、田宮北側の「うえ山」、西側の「丸山」、さらには「カギダ山」などが次々と宅地化されました。現在の人口は1947人、8

編集後記



左は審査委員長
の梶川伸さん

令和5年度の「枚方市機関紙コンクール」において「礎」が初のグランプリに輝き、2月20日、市長表彰と講評会がありました。

市の講評(文書全文)

各記事、取材がしっかりなされていて当事者のコメントを拾っていて具体性があり、情景が浮かんできますね。ふとん太鼓のトップ記事は読みごたえがあり、歴史背

21世帯の規模になり、「田宮向上会」として田宮本町、西田宮、西田宮中町、さつき丘、田宮新町の計五つの町が存在しています。

引用文献「田宮の歴史」は、平成20年に発行されています。

景の説明や当日の様子など地域のイベントを伝えようという熱意を感じました。健康に関する記事も、取材によって、こういった運動をしているのかイメージしやすく、自分の生活に取り入れやすい工夫を感じました。レイアウトも全体的にとても読みやすいのですが、同じ枠内で縦書きと横書きが混在しているの、どちらかに統一されると、より読みやすいのではないのでしょうか。

審査委員長の質問・講評

▽区民体育祭の写真は何人で撮ったのか。参加者の声を入れているところがよい
▽ほぼ全ページにインタビュー記事があるが、これは「編集方針」か、それともほかの理由か。「方針です」